

◆「中小企業魅力発見フェア」の背景と目的

中小企業庁では、中小企業の存在意義や魅力等に関する正しい理解を広く醸成するため、中小企業基本法の公布・施行日である7月20日を「中小企業の日」、7月の1ヶ月間を「中小企業魅力発信月間」と定め、官民で中小企業関連イベント等を集中的に実施することとしています。

令和3年度より沖縄県内における月間の取組のひとつとして、沖縄県中小企業家同友会、沖縄県、中小企業基盤整備機構沖縄事務所及び沖縄総合事務局が共催で、県内中小企業の魅力を発信するイベントを開催してきました。

※「中小企業の日」及び「中小企業魅力発信月間」の制定にあたっては沖縄県内中小企業・団体からの働きかけがきっかけとなったこともあり、本取り組みを行うことの意義は深いものと思料。

人手不足、原材料・燃料費高騰などにより中小企業をとりまく経営環境は大変厳しい状況であり付加価値向上を図る意味でも中小企業の認知を高め魅力発信を行うことは重要です。

中小企業は経済や社会の中で大きな役割を果たしており、その経営規模や従業員の数では測れない大きな価値を持っているが、自らだけではその魅力に気づくことや伝えることが難しいです。令和8年度中小企業魅力発見フェアでは、これから経済・社会を担う学生との連携により、普段気が付かない中小企業の魅力や価値を見つけるとともに、その魅力や価値の向上と発信に取り組む中小企業の意識醸成を目的としています。

◆概要・プログラム

中小企業は様々なステークホルダーとの関係の中で事業を行っており、それぞれの関係をどのように構築し発展させていくかは、事業の継続・成長において重要な要素となります。

そこでステークホルダーを「顧客」「従業員」「地域社会」に分け参加事業者にとのステークホルダーとの関係構築を深めたいかを事前に学生側に提示し、学生はそれに対し提案を行います。

なお、学生が検討していく上でそれぞれの課題解決を提案するという視点ではなく、どのステークホルダーに「愛されるにはどのようにするのか」という視点で行うことで、学生の視野を広げ、ジブンゴト化することで、柔軟な発想と事業者の魅力を引き出すとともに、事業者も提案を前向きに受け取り実行しやすい提案を引き出すことを狙いとします。学生は事業者の提示を踏まえ、学生からみた事業者の現状と「愛される」ために必要なアクションなどの提案を行ないます。

1. 中小企業魅力発見フェア 2026 (13:00~16:30) 沖縄産業支援センター 1階大ホール

テーマ：『若い感性で探る中小企業の魅力と可能性』

●登壇者：県内6大学の学生（名城大学、琉球大学、沖縄芸術大学、沖縄国際大学、沖縄大学、尚学院公務員法律大学校）

協力企業（グリーンフィールド沖縄(株)、(有)アンカー商事、いまいパン(同)、(株)近代美術(株)アイセック・ジャパン、(株)アメニティ、社会福祉法人トゥムヌイ福祉会）

●内 容：中小企業の日・魅力発信月間の意義目的

学生による企業魅力発見報告会

総評・表彰・修了式

